



心と心でつながる、世界に開かれたふくしま



GYRO

FIA MAGAZINE

ジャイロ

ジャイロスコープ（羅針盤）の名称をとって、広報紙「ジャイロ」の名称としています。

VOL.
119
平成27年7月号

CONTENTS

- P.3 平成26年度事業報告 ～次世代の人材育成～
- P.5 国際交流員の紹介 ～大屋直美(カナダ出身)～
- P.6-7 FIA Information

REPORT
外国出身者
コミュニティとの協働

P.1

Stanley Park(カナダ・バンクーバー)



REPORT

外国出身者コミュニティとの協働

当協会では、外国出身者への情報伝達や外国出身者の状況把握の手段として、県内各地に散在する外国出身者コミュニティのキーステーションとしての役割に注目しています。

そこで、昨年度は1年間を通じて、外国出身者コミュニティ及びキーパーソンを発掘し、当協会との連携を深めてきました。

外国出身者コミュニティの発掘

外国出身者や市町村国際交流協会、日本語教室等の関係団体から情報を得るなどして、新たに22のコミュニティとつながりを持つことができました。そして、これらのコミュニティには主に下記の3つのパターンがあることがわかりました。

- 同国出身者キーパーソンを中心としたコミュニティ
- 同国出身者が経営している料理店や雑貨店を中心としたコミュニティ
- 教会(同じ宗教)を中心としたコミュニティ

外国出身者コミュニティの活動紹介

外国出身者コミュニティの活動を広く地域に理解してもらうため、さらに同国出身者のネットワークの広がりにつなげるため、協働事業を実施したコミュニティ等について、その出身国の言語で団体紹介や協働事業の様子を当協会HPに掲載しました。

<p>FIAのご案内</p> <ul style="list-style-type: none"> ① ニュースリリース ② プロフィール ③ 協働案内 ④ アクセス ⑤ 賛助会員 ⑥ 賛助金の募集について ⑦ 名簿管理 ⑧ 広報誌「Gyo」(ジヤイロ) ⑨ 事業案内とレポート ⑩ 災害対策Gyo(ジヤイロ)「かんぱらう徳島」ブログ ⑪ 公民館多文化 ⑫ 共生サポーター制度 ⑬ メールマガジン ⑭ 役員リスト ⑮ 職員募集 <p>国際交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ① ニュースリリース ② 国際交流・協力団体 ③ 市町村国際交流協会 	<p>外国出身者コミュニティ・キーパーソン</p> <p>外国出身者が主なメンバーである団体や、外国出身者同士の繋がりを中心的存在の方々を紹介いたします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 中国 ● フィリピン ● ベトナム ● 台湾 ● ブラジル ● パキスタン ● インドネシア ● エジプト ● 韓国 ● タイ <p>中国 <small>中国</small> 一瞥へ▶</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 数山市中国同郷者の会 ● つばさー日中友好会 ● 通称多文化団体「心」 ● 子ども向け中国語サークル「パンパ」 ● 通称華僑華人協会 ● 通称日中文化交流会 <p>フィリピン <small>Philippines</small> 一瞥へ▶</p> <ul style="list-style-type: none"> ● HAWAK KAMAY FUKUSHIMA ● FUKUJI FILIPINO COMMUNITY ● 生々蘭 アリスさんと安藤 スエダさん <p>台湾</p>
---	---

外国出身者コミュニティとの協働事業の実施

外国出身者コミュニティとの連携を深めるため、そのコミュニティメンバーを対象とした講習会等を協働で実施しました。結果的に、次頁のとおり11のコミュニティと事業を実施することを通じて当協会との連携を深めることができました。

今後に向けて

平成27年度においては、散在する外国出身者コミュニティ間のネットワークづくりや各コミュニティ活動の地域への理解がさらに深まるよう、先進地視察や活動紹介パンフレット作成などを通じて支援していきたいと考えています。

外国出身者コミュニティ・キーパーソンのHP



No	実施月日	場 所	外 国 出 身 者 コ ミ ュ ニ テ ィ 名	内 容	参 加 人 数
1	7月12日(土) 10:00~16:00	須賀川市立 大東公民館	つばさ~日中ハーフ 支援会~	講習会 「日本の教育制度を 知りましょう」	12
2	8月29日(金) 13:30~16:00	いわき市 文化センター	Iwaki Filipino Community	「ストレスマネジメント」 ワークショップ	16
3	10月11日(土) 10:00~12:00	いわき市 生涯学習プラザ	子ども向け中国語 サークル「パンダ」	講習会 「日本の小学校に 入学するにあたって」	8
4	10月12日(日) 14:00~16:00	ベトナム料理店 「ミリサイゴン」	会津地域在住の ベトナム出身者	講習会「日本における 化粧の作法」	5
5	10月19日(日) 11:00~15:00	三春町 国際交流館	福島県台湾同郷会	台湾フェア	52
6	10月26日(日) 14:00~16:30	当協会	カトリック 松木町教会に通う フィリピン出身者等	講習会「国際結婚の ライフスタイルに応じた 在留資格について」	8
7	11月3日(月) 13:30~16:00	郡山市小山田 地域公民館	福島県中国帰国者の会	講習会 「高齢者の健康管理 ~漢方医学から~」	14
8	11月15日(土) 13:30~16:00	当協会	チームブラジル	講習会 「日本での老後に備えて」	11
9	12月7日(日) 12:00~14:00	当協会	Hawak Kamay Fukushima	ワークショップ 「栄養のバランスの 取れた食事について」	8
10	1月11日(日) 14:30~16:30	郡山市民 交流プラザ	県中地域在住の ベトナム出身者等	「外国人のための防災 講座~地震に備える ために~」	17
11	1月24日(土) 13:30~15:00	いわき市 文化センター	福島多文化団体 「心ノ橋」	講習会「日本の礼法」	19



本場台湾のお茶を披露しました。



漢方医学、奥が深いです。



栄養バランスのよい食事について学びました。



平成26年度
事業報告

～次世代の人材育成～

当協会は、「世界に開かれた県民意識の向上の推進」、「外国出身県民とともに創る活力ある地域づくりの推進」、「多様な関係団体と連携した国際交流活動の推進」及び「世界に向けた福島発信」の4つの柱で様々な事業を行っており、平成26年度は計21事業を実施しました。

ここでは、これら21事業のうち「次世代の人材育成」のために実施したものをご紹介します。他の事業報告及び決算報告については、当協会HPをご覧ください。

ふくしまユースグローバルカレッジ2014

高卒(高専は4・5年生)以上39歳以下の方を対象に平成22年度からスタートした年5回程度の連続講座「ふくしまユースグローバルカレッジ(グロカレ)」。

昨年度はグロカレ5期生延べ68名の参加者が、世界の多様性や異文化コミュニケーション、メディアリテラシー、地球規模の課題についてワークショップ形式で学び、その成果として「ふくしまグローバルセミナー2014」や「助成事業等報告会」で学んだことを発表したり、実際に講師として講座を行ったりしました。学生と社会人という、普段話し合う機会の少ない参加者同士が、同じ問題意識を持ち、共に考え、話し合い、発表する場を提供することができました。さらには、グロカレ1～4期生が講師やサブ講師として活躍し、縦断的なつながりも生まれました。



グループで考え、意見をまとめて発表しました。

次世代の海外研修への助成事業



ふくしまグローバルセミナー2014で発表しました。

海外研修プログラムに参加する高卒(高専は4・5年生)以上39歳以下の若い世代を対象に、渡航費等の助成を行うものです。平成26年度は大学生2名に対しそれぞれ10万円の助成を行いました。一人はバングラデシュで、もう一人はカナダで研修を行い、その成果について、「ふくしまグローバルセミナー2014」や「助成事業等報告会」において、「実際に海外に行き、自分の目で現地の様子を見たり、現地の人々と交流したりしたことは、自分の価値観に大きな影響を与えた」などの発表をしました。



国際理解出張講座

世界の現状と多様性や異文化理解・貧困等の世界規模の課題について、クイズやゲーム、グループディスカッションなどの手法を使って体験的に学ぶ国際理解講座を、県内各地に出張して計56回実施しました。

講座は、「外国人とトモダチ」、「違って当たり前!～異文化理解のために～」、「じゃがいも君とお話～偏見って何?」、「世界がもし100人の村だったら」、「これってアリ?」、「写真で学ぼう、世界の食卓」の6つがあり、一番人気があったのは、異文化理解をテーマにした「これってアリ?」の20回でした。

これらの出張講座の多くは、小中学校の授業として、または公民館や婦人会などの事業の一環として活用されました。国際理解を深める機会を数多く提供することができ、その参加者総数は2,681名となりました。



世界地図を前に、皆さん真剣です。

ふくしまグローバルセミナー2014

高校生以上の方を対象にした「ふくしまグローバルセミナー2014」を、JICA二本松を会場に12月20日(土)～21日(日)の2日間にわたって開催しました。平成8年度に別の名称で始まり、今回で18回目というロングラン事業です。

参加者は140名で、うち約4割が高校生と大学生でした。彼らは様々なテーマで国際理解を深めただけでなく、普段接することのない様々な職業や年代の参加者と共に学び、共に食事や寝泊りをするという貴重な時間を過ごすことができました。



風食交流会!盛り上がりました!!

外国の子どものサポート

「外国の子ども」と一口に言っても様々なケースがあります。外国で生まれ育ち、日本語や日本文化を知らないまま来日した。日本で生まれ育ったが、一時的に外国で暮らしていて、日本語や日本文化を忘れてしまった。日本で生まれ育っているが、保護者が外国出身で、家庭内では外国語が話され、外国の文化の中で過ごしている…。

このような子どもたちが一日でも早く学校生活に適應し、他の子どもたちと一緒に勉強できるようにするため、「ふくしま多文化共生サポーター」が2～3か月間学校に出向いてその子どもに寄り添いながら通訳や日本語指導を行っています。昨年度は、小学生から高校生ままで計19人の子どもたちをサポートしました。



「ふくしま外国の子ども支援団体連絡会」を設置し、第1回会議を開催しました。

平成26年度決算報告

平成26年度決算報告については、下記のURLをご参照ください。

<http://www.worldvillage.org/fia/profile.html>



国際交流員の紹介

大屋直美(カナダ出身)

はじめまして。国際交流員の大屋直美と申します。私は、日系4世と中国系3世のカナダ人です。プリティッシュコロンビア州のバンクーバー市で生まれ育ちました。父の影響で8歳から日本語学校に通っていましたが、なかなか話せるようになりませんでした。大学に入学して頑張ろう!と、2年間で話せるようになりました。

14歳の時の夏に、東京と宮崎県延岡市でホームステイをしました。たった2週間でしたが、その時から日本に興味を持っていました。2012年に長崎外国語大学に留学して、日本語の勉強に集中でき、とてもありがたい経験でした。去年の11月にThe Japan Exchange and Teaching (JET) Programmeに申し込み、4月から国際交流協会で働き始めました。新しいことは山ほどありますが、毎日が新しく、学ぶことがあって幸せだと思います。

長崎で勉強している間、日本の文化に触れる機会がありました。書道、華道、着付及び茶道を勉強していました。スポーツでは、弓道、合気道と剣道をやってみました。色々なことを経験し、日本の文化の深さを感じました。茶道部に入っていたので、茶道を続けたいと思います。カナダでは、書道も勉強したことがあって、書道にも興味があります。

福島に着いた時、不安と緊張でいっぱいでしたが、静かな町の景色を見て落ち着きました。迎えに来てくれた同僚たちがこうしてくれました。「直美さんが着く前はずっと雨でしたが晴れましたよ」。それを聞いて、福島も私に「ようこそ」と言いたかったかもしれない、と思いました。「今からここで住む」って心の奥から誓ってきました。

最初の日曜日には、福島県内の観光地に行き、楽しい一日を過ごしました。吾妻小富士、スカイライン、観音寺川の桜、五色沼などを見に行きました。やっぱり、福島にはカナダに負けない自然の景色があると思います。

私は福島で仕事ができることやたくさんの人に出会えることにワクワクしています。分からないことがたくさんあるので、皆さんお世話になります。私の日本語はまだまだ足りない部分が多いので皆さんのご指導をいただけたら嬉しいです。どうぞ宜しくお願いします。



茶道に真剣です。

Hello! I am the new Coordinator for International Relations, and my name is Naomi Oya. I am a fourth generation Japanese-Canadian and a third generation Chinese-Canadian. I was born and raised in Vancouver, British Columbia. With my father's influence, I began studying Japanese at the age of 8, but I was unable to carry on a conversation. After entering university, I buckled down and within two years I was able to converse.

The summer after I turned 14, I home stayed in Tokyo and Nobeoka city in Miyazaki Prefecture. It was a short 2 weeks, but during that time I became more and more interested in Japan. In 2012, I was a study abroad student at the Nagasaki University of Foreign Studies. Being able to focus only on studying Japanese for a year was an experience that I am grateful for. Last November, I applied to the JET Programme, and in April I began working at the Fukushima International Association. There are enough new experiences and work to fill a mountain right now, but being able to do something new every day, and to learn everyday is also what I consider happiness.

While I was studying in Nagasaki, I was able to experience tastes of Japanese culture. I studied the many traditional arts such as calligraphy, flower arranging, kimono wearing, and tea ceremony. I was also able to try traditional Japanese sports such as archery, aikido and kendo. In being able to experience so many different parts of Japanese culture, I was able to get a feel for the depth of Japan's unique culture. I was allowed to take part in the tea ceremony club at the university, and so I would like to continue my study of tea ceremony if possible. In Canada, I studied calligraphy when I was younger, and am therefore interested in Japanese calligraphy as well.

When I arrived in Fukushima I was full of insecurities and nervousness, but seeing what a quiet a beautiful city I had come to, I felt instantly calm. The colleagues that came to pick me up told me "before you arrived, it rained every day! But now it's sunny!" Hearing this, it felt as though Fukushima itself was welcoming me, and asking me to enjoy my time here. "From now on, I'll be living here." This thought resounded from deep within me.

On my first Sunday in Fukushima and my fifth day in Japan, I was able to go sightseeing within the prefecture, and had a very enjoyable outing day. I went to Azumakofuji, the Skyline, Kanonji River's Cherry Blossom route, and the Five-Coloured Ponds. As expected, Fukushima has a natural beauty that shines even next to Canada's world-renowned nature.

I am very excited to be able to work here in Fukushima and to meet so many different people. There are still a lot of things that I don't know, so I will be in the care of the people of Fukushima. My Japanese is lacking in many aspects, so I will be grateful for everyone's guidance. I'm looking forward to meeting everyone.



福島の自然は最高です!

ふくしまグローバルセミナー2015

外国出身者による母国紹介や国際協力現場レポート、外国にルーツを持つ子どもの支援など、国際理解や国際協力、多文化共生について学べる講座がたくさんあります。

高校生限定で一部別メニューの「ユースコース(旧ユース国際協力ミーティング)」も設定しました。

- 日時:平成27年9月26日(土)10:00~27日(日)11:50
(26日のみの参加も可。但し、【ユースコース】は両日参加のみ。)
- 会場:JICA二本松(福島県二本松市)
- 対象:高校生以上の方150名
(但し、【ユースコース】は高校生限定25名)
- 募集締切:平成27年9月7日(月)必着
※但し、先着順受付とし、定員になり次第申し込みを締め切り
- 参加費:1泊2日 ¥3,500
(食事代[3食]・資料代・宿泊費等)
26日のみ ¥1,500
(昼食代・資料代等)



国際理解出張講座 実施団体募集中

当協会では、異文化理解、人権、貧困など世界規模の課題について、クイズやゲーム、グループディスカッションなどを通じて体験的に学ぶ講座を、県内各地へ出向いて実施しています。学校の授業、公民館・大学の講座、イベント、企業の研修など様々な機会にご活用ください。詳細は福島県国際交流協会までお問い合わせください。

第24回 全国ボランティアフェスティバルふくしま

毎年各県持ち回りで開催している全国大会が福島県で開催されます。当協会では、分科会「やさしい日本語ワークショップ~誰にとっても易しく優しいコミュニケーション手段~」を担当します。



- 月日:11月21日(土)~22日(日)
- 会場:ビッグパレットふくしま及び日本大学工学部
- 対象:ボランティア活動に関心のある方 1,000名程度
- テーマ:“ありがとう”未来につなごう ふくしまから
- 内容:基調講演と分科会

日本語ネットワーク会議

東北6県の日本語教育を研究している大学の先生方が中心になって、毎年各県持ち回りで会議を開催しています。今年度は福島県が開催県となっております。

- 月日:10月3日(土) 10:00~16:00
- 会場:福島大学
- 対象:日本語ボランティア、教育関係者
その他外国出身者の日本語学習支援に関心のある方 100名程度
- テーマ:誰のための日本語支援か(仮題)
- 内容:基調講演及び分科会
- 参加費:無料

私たちは、賛助会員(団体)として協力しています。


(平成27年1月~4月末受付分)

 北関東空調工業株式会社

福島ユネスコ協会

福島県商工会議所連合会

福島県土地改良事業団体連合会

福島県男女共生センター
女と男の未来館 

株式会社ワールドサマール


福島県医師会

在日本大韓国民団福島県地方本部

福島空港ビル株式会社


福島国際交流の会

奥羽大学歯学部附属病院

 福島県立あさか開成高等学校

 ザ・セレクトン福島

 ふたば行政書士事務所
入国管理局申請取次行政書士
Mail matsueda.tomoyuki@futaba-gyouseishoshi-office.jp

 福島のへそのまち 本宮市

国見町

楢葉町

(公財)福島県国際交流協会は次の基本理念の下に活動しています

心と心でつながる、世界に開かれたふくしま

このグローバル社会において、本協会は、これまでの国際交流活動を礎に、県民と多様な価値観と言語を持つ世界の人々が、真に対等で良好な関係を築きながら、地域の活力につながる、世界に開かれた福島県の実現をめざし、様々な事業に取り組みます。

—基本方針—

- 1 世界に開かれた県民意識の向上を推進します
- 2 外国出身県民とともに創る活力ある地域づくりを推進します
- 3 多様な関係団体と連携した国際交流活動を推進します
- 4 世界に向けて福島を発信します (第4期運営基本計画より抜粋)

賛助会員を募集しています

当協会は、国際交流を通じて地域の活性化とより豊かな県民生活を実現するため、様々な事業を行っています。当協会の趣旨に賛同し、会費という形で当協会の活動をサポートして下さる「賛助会員」を募集しています。

■年会費

個人会員 3,000円/口

団体会員 10,000円/口

■振込先/公益財団法人 福島県国際交流協会

郵便局口座 [02130-2-15560]

■会員の特典

①当協会主催事業をはじめとした国際交流・協力に関わる様々な情報を掲載した広報紙Gyro(年3回発行)をお届けします。

②当協会研修室使用料の会員割引が受けられます。

③当協会所蔵の書籍や資料、ビデオを無料で借りることができます(一部貸出しできない本もあります)。

④団体会員については、広報紙Gyroで団体名をご紹介します。

■所得控除

当協会への賛助会費は、税制上の優遇措置があります。

外国出身者のための相談窓口

当協会では、外国出身者のための相談に多言語で対応しています。相談は電話と面談で行います。秘密は厳守しますので、安心して相談してください。なお、相談はカウンセリングとは異なり、相談者の自己決定・自己選択を前提とし、様々な情報や選択肢を提供するものです。

■英語・中国語・日本語

火曜日～土曜日 9:00～17:15

■タガログ語・ポルトガル語・韓国語

木曜日 10:00～14:00(但し、第4・5木曜は事前予約が必要)

相談専用 TEL 024-524-1316

FAX 024-521-8308

E-mail ask@worldvillage.org

寄附金を募集しています

当協会では、県民の国際交流に関する幅広い分野の活動を促進することにより、世界の人々との友好親善と相互理解を深めるとともに、多文化を持つ県民がともに生きる活力ある地域及び豊かな県民生活の実現に寄与する事業を行うため、皆様からの寄附金を募集しております。

寄附をしていただける方は、所定の「寄附金申込書」に必要事項をご記入の上、持参、メール、ファックス又は郵送にてお申し込みください。申込書を受領後、振込用紙をお送りいたします。詳細につきましては、当協会HPをご参照いただくか、直接お問い合わせください。

FIAメールマガジン登録のご案内

当協会では、福島県内外の国際交流団体が実施するイベントや国際交流に役立つ情報などを提供するメールマガジンを月2回発行しています。登録・購読は無料です。購読をご希望の方は、当協会HPからご登録いただけます。皆さまのご購読をお待ちしています。

■登録方法

当協会のHPのトップページにあるメールマガジンのバナーをクリックし、メールマガジンサイトにある入力フォームに、登録したいアドレスを入力してください。登録後に仮完了となり、アドレスに認証メールが送られてきます。認証URLをクリックして、登録を完了させてください。

公益財団法人 福島県国際交流協会

TEL:024-524-1315

FAX:024-521-8308

E-mail: info@worldvillage.org

〒960-8103 福島県福島市舟場町2-1

福島県庁舟場町分館2階

公益財団法人福島県国際交流協会内

